



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1763

2013年

10月5日

組織拡大を
大胆に訴えよう

連載企画
分会紹介



国府津運転所
分会

第64回地方大会開催

組織拡大を 全体で決意

東京地方本部は九月一四日(一五)日に第
六四回定期地方大会を開催した。一三時に
稲荷副委員長の司会で始まり、大会議長に
は清水実代議員(新橋支部)、副議長には
高橋吾郎代議員(新橋支部)が選出され代
表して清水議長から就任のあいさつを受け
た。執行委員長あいさつでは組織強化・拡
大の取り組みと安全・安定輸送の確立、職
場労働条件改善の取り組み、今日的な政治
反動と平和と民主主義の課題についてあい
さつがされた。(別項参照)

大会には東京交運協湯事務局長を以
じめ、共闘の団体や単組、政党などから多
くの来賓がかけつけ、順次あいさつをいた
だき、ともに闘う決意や激励をいただいた。
国労東日本本部からは松井委員長があ
いさつに立ち、国労東京議員団からは、前
段で行われた議員団総会で新たに団長に選
出された高橋市議(青梅市)が事務局長の
河野区議(新宿区)とともにあいさつに立
った。来賓の最後には国労弁護士団から高木
弁護士が最近の情勢を報告したほか、地方
本部とともに

行っている法
律相談をもつ
と活用してほ
しいとの要望
があった。
松川書記長
から経過なら
びに運動方針
案が提案さ
れ、選挙管理
委員会設置が



議長・清水代議員(左) 副議長・高橋代議員(右)

中嶋青年部長から提案・承認された。次いで
松川書記長から組織検討委員会報告がさ
れ、経過に対する質疑が新井代議員(八王
子)ほか計七名の代議員からされたあと承
認された。決算報告・会計監査報告を挟
み、運動方針討論に入り、小澤代議員(神
奈川)ほか計五名の代議員から討論が行わ
れ、一八時四分に一日目は休会となった。
二日目は九時三〇分に再開され、祝電・
メッセージが議運・安達代議員(新橋)か
ら披露されたあと、討論の続きに入った。
二日目は豊納代議員(八王子)をはじめ
一八名、両日あわせて二三名の代議員から
発言があり、組織強化・拡大や安全問題、
労働条件改善、グリーンスタッフ・ステー
ションサービスの労働条件、平和と憲法な
ど様々な課題について報告された。続いて
書記長集約がされ、二〇一三年度方針案が
確立された。(大会発言、書記長集約、来
賓一覧などは次号掲載予定)

走を許さず、憲法改
悪に反対し平和と暮
らしを守る特別決議
(案)の二本と大会
宣言(案)がそれぞれ
読み上げられ、承
認を受け、定期大会
の全ての議事が終了
した。最後に高橋副
議長から退任のあい
さつがされ、鎌田委
員長の団結ガンパロ
ーを全体で三唱し大
会は終了した。



演壇 あいさつする鎌田委員長

現在の組合員は二六名(エルダ
ー五名)で、昨年一〇月の「グル
ープ会社と一体となった業務体制
のさらなる推進について」による
業務委託時、JR国府津車両セン
ター本務に二名残り、二一名(エ
ルダー二名)が運輸サービス国府
津事業所(元は車両清掃会社)に
出向し、他エルダー三名は環境ア
クセスに従事しています。
国府津車両センターは、東海道
本線・湘南新宿ラインをメインに
E二二一系、E二二三系、二一七系、
二二五系、相模線二〇五系が配置

第64回定期地方大会 執行委員長挨拶

委員長の鎌田です。地方大会の開催にあたり、執行委員会を代表し挨拶を
申し上げます。
はじめに、組織強化・拡大の取り組みについてです。国労本部は、昨年「組
織拡大全国統一行動」を提起し、「闘争指令第1号」にもとづき、今日まで組
織拡大の意義や課題について繰り返し議論を深めるとともに、全機関が一丸
となり、取り組みの強化を進めてまいりました。シニア世代の仲間が国労に
居場所を求めての復帰や、新規採用者をはじめプロパー社員の加入など、点
から線へと着実に拡がりを続けています。
私たち国労組合員が職場や仕事の中心にしっかりと座り、世話役活動を惜
しみなく取り組むなど、職場改善を進める分会・職場活動が仲間との信頼・
共感として生まれ、拡大に結びついてきた結果だと言えます。労働条件改善
の闘いと組織拡大の取り組みは一体であることを再確認し、その闘いと行動
をより具現化させ、大きく発展させなければなりません。
同時に、グリーンスタッフの加入促進をはじめ今年4月に充足したJR東日
本ステーションサービスにおけるプロパー社員の組織化など、取り組みのさら
なる強化を目指していかなければなりません。経験と教訓を組織的に検証し、
日常的な取り組みをさらに継続させ、粘り強く、したたかに国労加入を訴え、
組織拡大への太い流れをつくりだしていくために全力を上げていきたいと思
っています。
次に、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善の取り組みについてです。
JR各社では、今日まで業務委託・外注化施策の推進、非正規社員の拡大、「機
械化・システム化」による効率化と人減らしなど、あらゆる合理化施策が推し
進められています。輸送障害や重大事故の多発は依然解消されず、今まさに、
企業の社会的責任やコンプライアンスの確立など企業内外においてチェック
機能を高めていくとともに、「安全が最優先される」企業文化の定着と合わせ、
「安全の番人・点検者」としての労働組合の役割と任務が極めて重要になっ
ています。
グリーンスタッフにおいては、職場で十分評価されているにもかかわらず、
雇止めも発生しています。正社員化への取り組みを一段と強めていかなけれ
ばなりません。JR東日本ステーションサービスで働くプロパー社員等の労働
条件改善も必須の課題です。JR貨物会社における賃金抑制攻撃は、一方的
に社員に犠牲を押し付ける「賃金削減」である以上、断じて許されません。
次に、政治反動と平和と民主主義の課題についてです。安倍政権は「ア
ベノミクス」を唱え、毎年3%成長、10年間で国民総所得を150万増やす
などと明言しています。しかし実際は、公務員賃金カット、生活保護費削減、
消費税増税、社会保障制度の改悪、労働者派遣法の見直し、国民に背を向
けた政治姿勢に終始しています。同時に、原発再稼働・輸出政策など、再び
地球環境を脅かす行為を強行しようとしています。さらに憲法改正手続き第
96条の改悪を強行し、「集団的自衛権の行使」に踏み出す構えを明確にす
るなど、憲法改悪を最大の課題・使命として位置付けています。さらに、軍
備増強、軍事大国化への道を突き進むことは明白です。
労働組合の社会的責任として広範な仲間との連携と連帯、共闘を図りなが
ら、壮大な闘いを築き上げるために、職場・地域の全ての力を総結集し闘
い抜かなければなりません。
今日まで築き上げてきた闘いやあらゆる取り組みに自信と確信を深め、当
面する諸課題の実現に向け国労東京地方本部がその先頭に立ち、奮闘する
決意を申し上げ、執行委員会を代表しての挨拶といたします。



交流・レク活動は、花見・パークゴル
フが定着した夏季レク、スキーとお酒の
冬レク、秋の分会旅行と折々に開催して
います。中でも夏季レクにはOB、配転
者にも声をかけて開催しています。
今、ほとんどの組合員が出向し、労働条
件がJRより下げられ、JR会社の利潤追
求、安全輸送無視の施策の中で、私たち
JR・協力会社の労働条件改善、安全・安
定輸送の確保を目指す闘いと共に、組織拡
大に全精力を結集していきます。

第21回組織強化拡大・労働条件改善 経験交流集会

東京地方本部は九月七日～八日に鬼怒川温泉において第二一回組織強化拡大・労働条件改善経験交流集会を開催した。

主催者あいさつでは鎌田委員長から「組織拡大こそ組織の命運をかけた闘い。各級機関での意思統一、職場に渦巻く不満や不安に対する分會活動の活性化、職場改善闘争の推進など日常的な信頼関係づくりとあわせ一層の取り組み強化が必要。青年からシニア世代まで拡大は広がっている。今日までの地道な運動の成果を共有化し、拡大の重要性を全組合員が認識し一致させることが求められている」などのあいさつがされた。

続いて他地本の取り組みに学ぼうと、昨年新入社員が加入した郡山駅連合分會の千葉執行委員長に来ていただき、「改札では『国労に来い』が朝のあいさつに。職場では、賃金から労働条件までさまざまな話を。備品など必要なものが欲しいと言え職場がいい職場だ、と話す。国労が前に立って助役・駅長と話を。」

私たちが背中を見てもらおう。白川君を一人にしない、が合言葉」など様々な経験を報告していただいた。白川さんからは「国労の人たちといると安心感がある。自分もこういう安心感を与えられる社員になりたい。一人でも国労組合員を増やすようがんばりたい」などの決意がされた。

第41回野球大会 優勝は東京駅(新橋A)



東京地方本部は九月一日に、第四一回国労東京軟式野球大会の準決勝・決勝を大井スポーツセンター野球場において開催した。

準決勝の八王子A(八王子地区協)対新橋A(東京駅)は、東京駅・才田投手(渋谷駅)と八王子・緑川投手(八王子運輸区)の投げ合い。一回裏の新橋Aは、一・二塁から増山選手(渋谷駅)の右翼線二塁打で二点など計三点を上げた。三回裏にも大山選手(大井町駅)のタイムリーヒットなどで三点を上げ、八王子の反撃を三回表・五回表の一点ずつに抑え、八対二で新橋Aが決勝に進出した。

大宮A(電気連合)対八王子B(立川車掌区)の試合は、八王子B・大野投手(立川運輸区)と大宮A・渡辺投手(大宮信通)

技セ)の投げ合いが始まり、三回裏に八王子Bが一点先行したものの、五回・六回で逆転。三対一で大宮Aが決勝に進出した。決勝は新橋A・才田投手と大宮A・渡辺投手の投げ合いとなり、一回表に大宮Aが二点先行したものの、新橋Aの4回裏の攻撃で才田選手の三遊間を抜けるヒットで二点など計五点を上げ、続く五回裏でも四点を上げ、試合を決定づけた。試合は一一対三で新橋A(東京駅)の優勝となり、準優勝が大宮A(電気連合)。三位決定戦は八王子どうしの対戦となり、八王子Aが六対四で競り勝ち、三位が八王子A(八王子地区協)、四位が八王子B(立川車掌区)と決った。



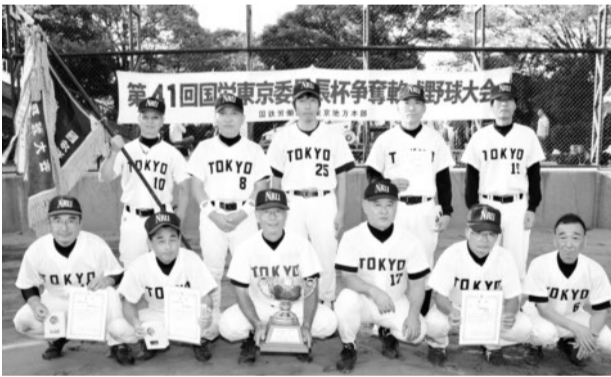
才田選手 白石選手 大山選手 渡辺選手



優勝した東京駅チームは、昨年優勝の中原電車区チームとともに、来年の国労東京野球大会に東京地本代表で出場となるので、さらなる活躍を期待したい。

最高殊勲選手賞 白石道明 有楽町駅
最優秀投手賞 才田安則 渋谷駅
打撃賞 大山雅之 大井町駅
敢闘賞 渡辺祐二 大宮信通技セ

そのあと宮崎組織部長から基調提起がされたあと、九つに分かれて分會が二時間半に亘って行われ、参加者から細かく職場の報告や討論が行われた。



優勝した新橋支部A(東京駅チーム)

浦和車掌区分会からカンパへの御礼とお知らせが届いています
昨年九月に、日光皇海山に登山に行き、行方不明となりました。浦和車掌区分会の佐藤賢さん(五三)が八月一三日、山中の庚申川の上流で遺体となり登山者に発見されました。無事を願い一日も早い帰りを待っていたご家族の皆様には残念な結果となりましたが、ご自宅に帰ることができました。これまでのご厚情に対し、あらためて御礼申し上げます。
国労浦和車掌区分会

「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法るとき (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円

プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

【募集代理店】 アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

コールセンター 0120-5555-95 電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料 (団体取扱) (2011年4月1日現在)
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】 アベニール株式会社 東京営業所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264

◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日